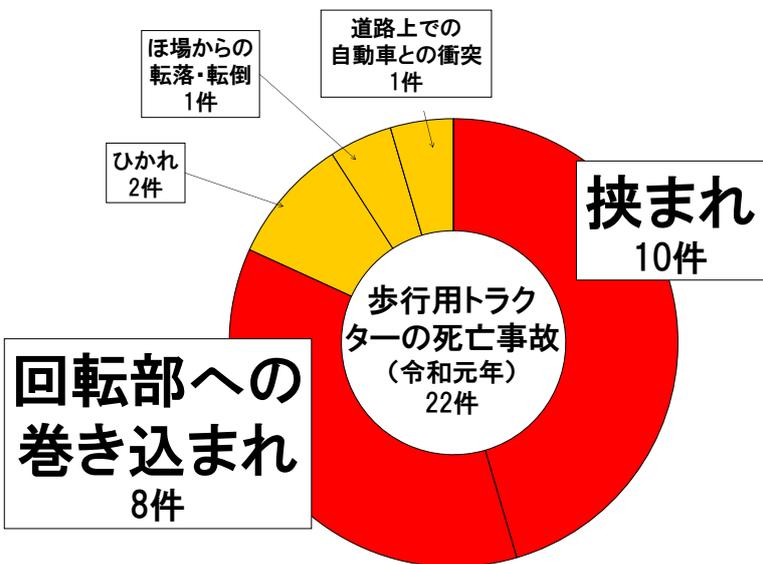


歩行用トラクターの事故の特徴と安全装備



(農林水産省調べ)

死亡事故原因の約8割が挟まれ・巻き込まれです

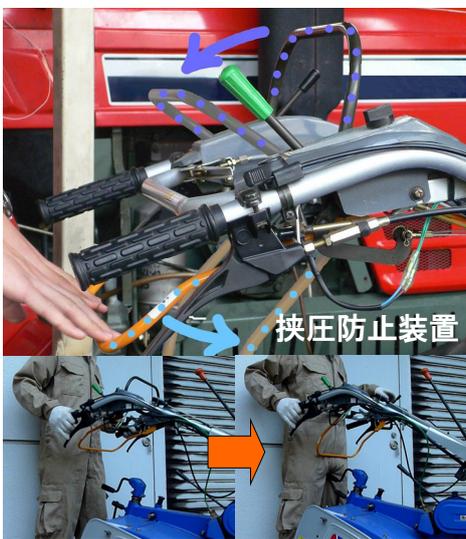
可動部への巻き込まれの状況は、「後退時、足を滑らせた」が、機械部への巻き込まれは、「畦畔を乗り越える時や、ほ場の出入り時、路肩の踏み外しによる転倒」が最も多いことが明らかになっています。

安全装備の付いた歩行用トラクターを使いましょう！

挟まれそうになった時や転倒時には、すぐに動力を遮断することが必要です。このため、以下のような安全装備が装着された製品が販売されています。



フロントロータリー：
機械本体の前方にロータリーが装着されており、不用意につま先を近づけることによる巻き込まれの恐れがありません。また、後進発進時には、通常のものとは違って（写真上）、前方のロータリーが支えとなりハンドルが持ち上がることはありません（写真下）。



挟圧防止装置：
機体と、壁などの間に作業者が挟まれたときに、自動的にエンジンを停止または動力を遮断する装置です。
レバーが体に触れて押し下げられると、主クラッチが連動して切れ、機械が停止します。



デッドマン式クラッチ：
レバーをハンドルと一緒に握っている間だけ動力が伝達され、手を離すとレバーが自動的に戻って動力が切れる構造のクラッチです。
不測の事態に、ハンドルから手を離すことで機械の動きを止めることができます。

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）
農業機械研究部門（農機研）

 農研機構

〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町1丁目40番地2

TEL 048-654-7000 URL <https://www.naro.affrc.go.jp/org/brain/anzenweb/>